



行事報告

茨城県だよ

全国聴覚障害者情報提供施設協議会 in 水戸

6月8日(木)~9日(金)



全国聴覚障害者情報提供施設協議会の2017年度総会と施設大会に参加するため、大西理事とともに水戸へ行ってきました。

6月8日は朝6時広島駅始発の新幹線で品川へ。品川で特急「ときわ」に乗り換え、水戸へ着いたのは昼の12時でした。1日目は総会と施設大会。シンポジウムは、「電話リレーサービス、遠隔手話サービスと聴覚障害者情報提供施設」。

夜は、懇親会があり、全国各地の施設長、職員の方々とお話できました。水戸市マスコットキャラクター「みとちゃん」の飛び入り参加もあり、テーブルごとに「みとちゃん」とじゃんけん大会に。10人ほどの「うめ」テーブルでじゃんけ

んに勝ったのはなんと私。1月にオープンしたばかりの広島県聴覚障害者センターから初めての参加でしたが、幸先のよさを感じました。2日目はブロック会議と全体会。第4ブロック(中国・四国)で意見交換を行いました。2日目のお昼には大会も終わり、一路広島へ。

改めて、全国の情報提供施設の出席者を眺めると、施設長が聴者の所と聴覚障害者の所が混在しています。それは、情報提供施設の設立に至る経過の違いからきているように感じました。今までの経過を大切に、広島らしさを出し、すべての聴覚障害者に開かれたセンターを作っていく決意を新たにすることができました。(松岡)



手話通訳者第2回特別研修会 高屋西地域センター 6月11日(日)



参加者は38人。お隣の県からの見学者も2名ありました。講師は、秋山明美さんと唐澤美加さん。午前中は「読み取り通訳学習」、午後からは「翻訳技術のステップアップⅡ」を学習しました。

分かりやすい翻訳とは何か。ろう者の手話表現を見て、手話通訳者は頭の中でなんとなくイメージするだけではなく、手話をきちんと適切な日本語に翻訳する必要があります。助詞の1字があ

るとないとでは意味が全く変わってくるので、助詞を省略することなく、適切な助詞を選択し翻訳する必要があります。日頃から正しい日本語を意識して通訳活動にあたる必要があるということでした。(松岡)

